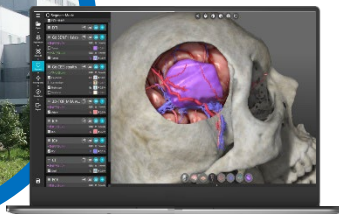
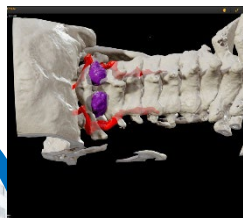
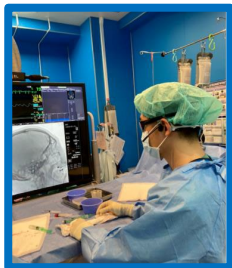




# 次世代遠隔画像支援システムによる高度画像シミュレーション手術教育拠点

(千葉)

柏病院



モバイルCT装置

1. 本院に新たにハイブリッド手術室を開設。
2. 分院に術中CT装置を設置。
3. 3Dシミュレーション用ソフトウェアを用いることで術前画像を用いた高度画像シミュレーションや高難度手術に対する手術戦略の作成、若手医師に対する教育、ラーニングカーブの短縮が可能に。



Join LiveViewによって手術中の映像をリアルタイムで共有することができ、  
1) 遠隔での手術のサポート, 2) 遠隔での手術の見学が可能

エキスパートによる  
遠隔指導



血管撮影装置

本院

(東京)



本院エキスパートの手術



分院若手外科医への遠隔教育

Live

音声

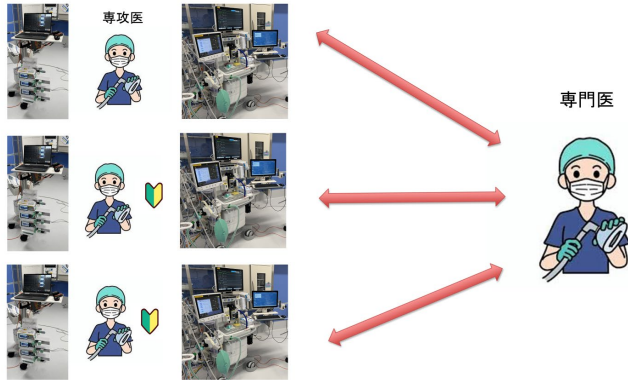


将来的には厚木市立病院（神奈川）、富士市立病院（静岡）などの大学協力病院へ展開することを検討

附属病院に術中CT装置やナビゲーション、術前シミュレーション装置を完備し、遠隔指導ツールのJOINで繋げることで、どの病院でも本院と同等の高難度医療が可能となる。こうした人材を育て、送り、サポートする体制を構築することにより、若手医師や学生の教育、地域医療に貢献。

# 自動麻酔・遠隔モニタリングシステム構築と次世代麻酔科医人材育成

自動麻酔 麻酔科医 生体情報



## 自動麻酔・遠隔モニタリングシステム

各手術室には、必要最小限の麻酔科医が配置される。専門医は中央で、自動麻酔システムおよび遠隔監視システムを活用して、複数手術を統合的に管理する。本事業ではこの体制を構築する。

※自動麻酔システムとは

BIS・筋弛緩モニタリングに基づく自動投与制御で、鎮静・鎮痛・筋弛緩を一元管理できる全静脈麻酔支援システム。導入・維持の制御を標準化し、麻酔科医の負担軽減と麻酔のオートメーション化による医療ミスの削減・医療安全の向上を実現する。

## 次世代麻酔科医の育成

全国的に麻酔科医不足が課題となっており、地方では手術実施の律速となっている。

自動麻酔と遠隔モニタリングを組み合わせた周術期管理モデルを構築し、**新たな管理の「仕組み」を創造**する。

若手医師、医学生には早期から遠隔監視・集中管理の仕組みを体系的に体験させ、**周術期管理の高度化・効率化を推進できる高度医療人材を育成**する。

## 今後のステップ

1. 自動麻酔・遠隔モニタリングシステムの確立（「仕組み」化）
2. 次世代麻酔科医の育成
3. 麻酔科医が不足する地域に同システムを展開するとともに、この「仕組み」を運用可能な人材を派遣する。

**人を送る から  
人と「仕組み」を送る へ**

麻酔科医不足の地域に高度医療人材と「仕組み」を送り、全国的なネットワークの構築を目指す

